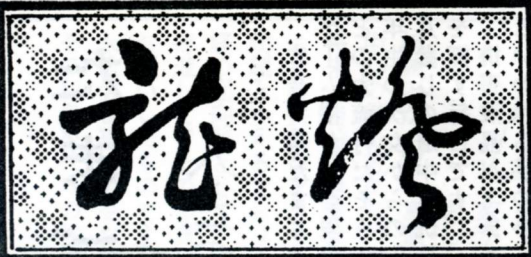


第23号

発行所 大阪市史跡 龍溪禪師墓所
 靈 亀 山 九 島 禪 院
 〒550 大阪市西区本田3丁目4-18
 ☎06-583-2725
 発行人 住 職 奥 田 啓 知 (智證)



大阪にオリンピックを！
 九条に中華街を！
 二十一世紀まであと三年！

ボランティアは菩薩行

深刻な重油流出被害見ておれぬ

連日、島根県隠岐島沖で沈没したロシア船籍タンカー「ナホトカ」の重油流出事故による海洋汚染が報道されています。漁協や地元住民をはじめ、自衛隊、海上保安庁も回収作業にあたっています。また、高校球児たちをはじめ全国から大勢のボランティアも応援にかけつけヒシヤクやバケツで懸命に重油をかき出しています。被害はさらに富山、新潟へ拡大する様相を見せています。

タンカー船首部分が漂着した福井県三国町では、重油対策ボランティア本部の設置以来、九日間、北海道から沖縄まで全国から訪れたボランティアは約二万二千人を数えるとのことです。

ボランティアとは広辞苑によれば「志願者。篤志家。奉仕者自ら進んで社会事業に参加する人」を意味しますが、おそくはキリスト教の博愛精神から発したものでしょう。仏教では慈悲と呼び、慈とはいつくしみであり、他人に樂を与えてること

で、悲とは、哀れみであり、不幸な人とともに悲しみ哀れんで苦しみを取り除いてあげることです。そして、慈悲の気持ちで行う行為を「菩薩行（ぼさつぎょう）」と呼び大乘仏教では重要な仏道修行とされています。菩薩とは、もともと釈迦さまの前世の呼び名ですが、行基菩薩、日蓮大菩薩をはじめ、観音菩薩、文殊菩薩など、大いなる誓願をたて、菩提（さとり）を求め修行するとともに、人々を悟りに到達させて救おう（上求菩提・下化衆生）とつとめて

いる者をさします。私も黄粟宗でも、二度の大飢饉の救済に立ち上がり、艱難辛苦『大蔵経』を刊行した鉄眼禅師も、救世の居士とよばれています。

ボランティアを菩薩行と解して、菩薩行にとって重要なことは、こだわらないことです。俺がお前に恵んでいるやるんだぞだからお前は俺に感謝しなればならない。そんな気持ちがあるってば菩薩行になりません。また、『観音経』には、観音さま

は極楽浄土のほとけさままで、十三の変化身（へんげしん）をとって私たちの娑婆世界に「遊び」に来ておられる」と書かれています。「遊び」という意味は、ゆったりと、楽しみながら修行しておられるその姿を遊びと表現しているのです。

ボランティアも、自分の健康を考えて参加したいものです。命をおとしは何のためかボランティアか分かりません。また、先の神戸大震災のボランティア活動で見られたように一生懸命するあまり、ボランティアをぬけた者に対して恨みをもち、はては暴力沙汰になっては何を可言わんやでしょう。大震災を教訓に定着したボランティア活動ですが、肩肘はらず、自然な形で参加したいものです。最後に、ボランティアに参加され、亡くなられた三名の方のご冥福をお祈りします。

